

シヨブロンに第10代語学指導員を派遣 本市への観光客数と宿泊客数が増加 全国高等学校スキー大会が2月に開催



平成30年第8回定例会

平成30年第8回鹿角市議会定例会が11月30日から20日間の会期で開かれ、補正予算案などの議案が審議されました。初日に行われた市長の行政報告の概要は次のとおりです。

■シヨブロン市との交流

第10代目の日本語学指導員として、秋田市出身の堀川さゆみさんを派遣し、10月25日から活動を開始しています。

平成31年は、日本とハンガリーの外交関係開設150周年でもあることから、日本への関心がさらに高まるものと考えられますので、現地の高い日本語習得ニーズに応えながら、幅広く活躍されることを期待します。

■地域コミュニティの活性化

今年度は、12自治会において、集落支援員が課題や地域資源を把握する状況調査を進めており、このうち3自治会では、集落の現状や将来像を共有しながら活性化に向けた活動計画の策定に取り組ん

■新規卒業者の内定状況

鹿角管内の高校を来年3月に卒業見込みの生徒数は274人ですが、9月末現在の縁故・血縁、公務員を除いた県内就職希望者は53人で、県内就職希望率は63・9%となっています。これまで、高校生と事業所の交流や地元企業情報発信強化に取り組んできたことで、管内高校生の地元への関心が高まり、就職率も上昇傾向となっています。

一方で、9月末時点での新卒の管内求人数は86事業所229人で、人手不足が続いているため、引き続き関係機関、団体などとの連携を図りながら、求人・求職のマッチングを進め、内定率100%の早期達成と市内企業の人材確保に取組みます。

でいます。

引き続き、集落支援員が自治会による話し合いをサポートするとともに、自治会が行う主体的な取り組みを支援しながら、地域コミュニティの維持と活性化を図ります。

■地域包括支援センターを市内各地区に配置

4月に花輪・尾去沢地域をカバーする包括支援センターを開所する予定としており、これにより市内すべての地域に配置となります。

■臨床研修医を受け入れ

かづの厚生病院では、10月から3カ月間、岩手医科大学を卒業した臨床研修医を受け入れていま

■除雪に万全の態勢で臨む

市道除雪については、除雪機械110台の態勢で、冬期間における安全・安心な通行の確保に万全を期します。

■都市インフラの整備に向けて

橋りょう長寿命化対策に伴い、鏡田橋の架け替え工事に着手しています。3月20日までの工期予定で、期間中は車両通行止になることからご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

■ブロック塀の安全対策を推進

ブロック塀の撤去支援事業費補助金の11月28日現在の交付決定件数は26件で、交付決定額は

す。こうした臨床研修を行う医師が増えることで、将来にわた

り医師の働きやすい環境づくりと本市への定着につながることを期待されますので、今後も関係機関に働きかけていきます。

■農業の6次産業化を進める協定を締結

11月28日にかづの商工会、秋田銀行との3者で、「アグリビジネスチャレンジ支援に関する協定」を締結しました。

企業支援のノウハウやビジネスネットワークを活用し、より質の高い農業経営の支援体制を構築することで、販路の拡大や農産加工品の製造など6次産業化にチャレンジする農業者を支援し、地域農業の活性化につなげていきます。

399万1千円となっています。

地震などの災害に対する危機意識の高まりにより、当初の想定を超える申請件数となっており、今後さらなる申請が見込まれることから、早期に対策を講じます。

■学校給食センターの工事が完了

学校給食センターの工事が完了し、1月に竣工式および施設内覧会を開催します。4月の稼働を目指して準備を進めており、安全・安心な学校給食の提供に努め、児童生徒の食育の推進を図ります。

■世界遺産登録への推薦は見送り

大湯環状列石を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録については、政府が2020

■「稼げる観光」の実現を目指す

10月末の観光客数は約162万8千人で、前年比0・6%の増となり、宿泊者数についても約20万5千人で前年比3・0%の増となりました。かづの観光ファンの「LINE会員」制度や、インスタグラムを取り入れたキャンペーンなど、SNSを有効に活用して観光情報の発信を行ったことが奏功しました。また、道の駅おおゆのオープンや、八郎太郎号による二次アクセス充実の効果もあつたと考えます。

今後も「稼げる観光」の実現を目指し、鹿角観光ふるさと館あんたらあの大規模改修をはじめ、新たな魅力の構築と誘客拡大に向けた効果的な取り組みを積極的に展開していきます。

年の国内推薦を自然遺産候補と決定したことから、今年度の推薦は見送りとなりました。

大変残念な結果となりましたが、今後も、関係自治体とより一層の連携を図りながら、世界遺産登録の早期実現を目指して取り組みを継続していきます。

■インターハイが2月に開催

2月8日から、「第68回全国高等学校スキー大会」が本市で開催されます。本市の魅力年全国に発信する絶好の機会であり、地域経済への波及効果も期待されますので、市民や関係各位の協力を得ながら市を挙げて取り組んでいきます。

■総務課 行政班 ☎30-0203



1 堀川さんはシヨブロン市へ渡航する前に児玉市長を訪問し、意気込みを語りました。



2 協定の締結により、農業者へのきめ細やかな経営支援や販路拡大が期待されます。



3 新しい学校給食センターは4月から市内小・中学校へ約2,400食を提供します。



4 本市は2月のインターハイ開催により、5年連続で全国規模の大会を開催することになります。(写真は平成27年インターハイ)